画像サイズと画質を変える

本機は撮影する内容に応じて、画像サイズと画質の切り替えができます。

画像サイズを変更する

画像サイズとは、カメラが記録する撮影画像の大きさを画素数（ピクセル数）で表したものです。この画素数は1枚の写真を構成する粒子のきめ細かさを示している数値で、数字が大きいほど、印刷したときにきめが細かく美しい仕上がりになります。用途に合わせて画像サイズを変更してください。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. 【◀】【▶】で"撮影設定"タブを選びます。

3. 【▲】【▼】で"サイズ"を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

- QV-R51の場合
  - 2560×1920　：2560×1920 pixelsで記録します。
  - 2560×1712 (3:2)：2560×1712 (3:2) pixelsで記録します。
  - 2048×1536　：2048×1536 pixelsで記録します。
  - 1600×1200　：1600×1200 pixelsで記録します。
  - 1280× 960　：1280× 960 pixelsで記録します。
  - 640× 480　：640× 480 pixelsで記録します。
- QV-R41の場合
  - 2304×1712　：2304×1712 pixelsで記録します。
  - 2240×1680　：2240×1680 pixelsで記録します。
  - 2240×1488 (3:2)：2240×1488 (3:2) pixelsで記録します。
  - 1600×1200　：1600×1200 pixelsで記録します。
  - 1280× 960　：1280× 960 pixelsで記録します。
  - 640× 480　：640× 480 pixelsで記録します。

参考 • 画像サイズを選択するときは、下記の表を目安にしてください。

● QV-R51

	設定内容	選択時の目安※1
大きい	2560×1920	A3サイズ以下で印刷したいとき
↑	2560×1712（3：2）	A3サイズ以下で印刷したいとき ※横縦比が3:2となります。
	2048×1536	A4サイズ以下で印刷したいとき
	1600×1200	A5サイズ以下で印刷したいとき
↓	1280×960	A6サイズ（ハガキサイズ程度）以下で印刷したいとき
小さい	640×480	メールで画像データを送りたいとき

● QV-R41

	設定内容	選択時の目安※1
大きい	2304×1712	B4サイズ以下で印刷したいとき
↑	2240×1680	A4サイズ以下で印刷したいとき
	2240×1488（3：2）	A4サイズ以下で印刷したいとき ※横縦比が3:2となります。
	1600×1200	A5サイズ以下で印刷したいとき
↓	1280×960	A6サイズ（ハガキサイズ程度）以下で印刷したいとき
小さい	640×480	メールで画像データを送りたいとき

※1 「選択時の目安」は、あくまでも参考のサイズとお考えください（印刷解像度200dpiの場合）。

• "2560×1712（3：2）"（QV-R51）や"2240×1488（3：2）"（QV-R41）を選ぶと、プリント紙の縦横比3：2に合うように、画像を3：2の比率で撮影します。

画質を変更する

画質とは、画像を記録する際のデータ圧縮率を表したものです。用途に合わせて画質を変更してください。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. 【◀】【▶】で"撮影設定"タブを選びます。

3. 【▲】【▼】で"画質"を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

高精細　：高画質で記録します。
標準　：標準の画質で記録します。
エコノミー：低画質で記録します。

参考 • 画質を選択するときは、下記の表を目安にしてください。

	設定内容	選択時の目安
高画質	高精細	画質を優先したいとき
↕	標準	通常の撮影をするとき
低画質	エコノミー	撮影枚数を優先したいとき

重要! • 撮影した画像によってファイルサイズが異なるため、実際の撮影可能枚数と画面上の表示枚数が一致しない場合があります（18、145ページ）。

撮影する（応用編）

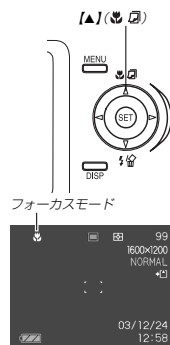
本機はさまざまな機能の切り替えにより、多彩な応用撮影ができます。

ピント合わせの方法を変える

ピント合わせの方法には、オートフォーカス、マクロ（接写）、無限遠、マニュアルフォーカスの4種類があります。これらをフォーカスモードといいます。

1. RECモードにします。

2. 【▲】（🌷 ☐）を押して、ピント合わせの方法を選びます。

• 【▲】を押すたびに【液晶モニター】に次の順でピント合わせの方法が表示され、切り替わります。

表示なし（オートフォーカス）：
　自動的にピントを合わせます。
🌷（マクロ<接写>）：
　近くのものを撮影するときに使用します。
∞（無限遠）：
　遠景を撮影するときに使用します。
MF（マニュアルフォーカス）：
　手動でピントを合わせることができます。

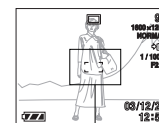
自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

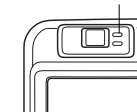
オートフォーカスでは自動的にピントを合わせることができます。シャッターを半押しすると、オートフォーカス機能が働き、自動的にピント調整を始めます。ピントを合わせることができる範囲は下記の通りです。

範囲：約60cm〜∞

1. 【▲】（🌷 ☐）を何回か押して、フォーカスモード表示を消します。

2. ピントを合わせたい被写体を【フォーカスフレーム】の中にとらえて、【シャッター】を半押しします。

• 【動作確認用ランプ】と【フォーカスフレーム】の点灯のしかたによってピントの状況を知ることができます。

【フォーカスフレーム】

緑の【動作確認用ランプ】

状況	動作確認用ランプ	フォーカスフレーム
ピント合わせ完了	緑点灯	緑点灯
ピント合わせ不可	緑点滅	赤点灯

3. 【シャッター】を全押しして、撮影します。

■ オートフォーカスの測定範囲(AFエリア)を変える

オートフォーカスモード、マクロモードにおいて、オートフォーカス(AF)の測定範囲を変更することができます。設定によって【フォーカスフレーム】の形状も変わります。

1. RECモードで【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"AFエリア"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

スポット：中央のごく狭い部分を測定します。フォーカスロック(51ページ)を活用した撮影に便利です。

マルチ　：シャッターを半押しすると、7つの測距点の中で、距離が一番近い被写体にピントを合わせます。集合写真などに便利です。

※ "マルチ"の場合、幅広い【フォーカスフレーム】が表示されます。【シャッター】を半押しすると、ピントが合った場所の【フォーカスフレーム】が表示されます。

"スポット"の場合

【フォーカスフレーム】

"マルチ"の場合

【フォーカスフレーム】※

近くを撮影する(マクロ)

マクロでは近距離で自動的にピントを合わせることができます。近くのものを撮影(接写)するときに使用します。シャッターを半押しすると、オートフォーカス機能が働き、自動的にピント調整を始めます。ピントを合わせることができる範囲は下記の通りです。

範囲：約10cm～70cm

1. 【▲】(✿ ▢)を何回か押して、"✿"を表示させます。

2. 撮影します。

- ピントの合わせかた、撮影のしかたはオートフォーカスモードと同じです。
- 【動作確認用ランプ】／【フォーカスフレーム】の点灯のしかたによってピントの状況を知ることができます。点灯のしかたはオートフォーカスモードと同じです。

重要! • マクロ(接写)での光学ズームは1～1.2倍の範囲で使用できます。

遠くを撮影する(無限遠)

景色など遠景を撮影するときに使用します。

1. 【▲】(✿ ▢)を何回か押して、"∞"を表示させます。

2. 撮影します。

手動でピントを合わせる(マニュアルフォーカス)

マニュアルフォーカスでは手動でピントを合わせることができます。ピントを合わせることができる範囲は下記の通りです。

光学ズーム倍率	範囲
1倍	約10cm～∞
3倍	約60cm～∞

1. 【▲】(✿ ▢)を何回か押して、"MF"を表示させます。

- 手順2で拡大表示される範囲が枠で囲まれます。

枠

2. 【液晶モニター】で確認しながら、【◀】【▶】によりピントを合わせます。

【◀】：遠い側にピントを合わせる

【▶】：近い側にピントを合わせる

- 【液晶モニター】にはマニュアルフォーカスの位置が表示され、おおよそのピントの位置が確認できます。
- ピントを合わせている間は表示が拡大表示になり、ピントの確認がしやすくなります。

マニュアルフォーカスの位置

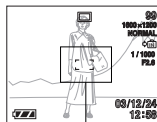
3. 【シャッター】を押して撮影します。

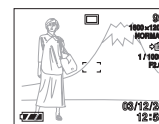
重要! • マニュアルフォーカス時は「左右キー設定」(70ページ)により設定されている【◀】【▶】を押しての動作は無効になり、ピント合わせの動作が優先されます。

フォーカスロック

撮影したい構図で【フォーカスフレーム】に入らない被写体にピントを合わせる場合は、フォーカスロックを使います。フォーカスロックはオートフォーカスモード、マクロモード(✿)で使用できます。

1. ピントを合わせたい被写体を【液晶モニター】で見ながら、【シャッター】を半押しします。

- ピントの合わせかた、撮影のしかたはオートフォーカスモードと同じです。
- 【動作確認用ランプ】／【フォーカスフレーム】の点灯のしかたによってピントの状況を知ることができます。点灯のしかたはオートフォーカスモードと同じです。

【フォーカスフレーム】

2. 【シャッター】を半押ししたまま、撮影したい構図を決めます。

3. 【シャッター】を全押しして、撮影します。

参考 • フォーカスロックと同時に露出(AE)もロックされます。

露出を補正する(EVシフト)

本機は撮影時の明るさに応じて、露出値(EV値)を下記の値に手動で補正することができます。逆光での撮影、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影などに利用すると、より良好な画像が得られます。

露出補正値：－2.0EV～＋2.0EV

補正単位　：1/3EV

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"EVシフト"と選び、【▶】を押します。

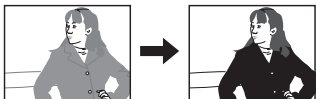
露出補正表示

3.【▲】【▼】で露出補正値を選び、【SET】を押します。

- これで露出補正値が設定されました。

露出補正表示

【▲】: +方向に補正されます。白い物の撮影や逆光での撮影のときに押します。

【▼】: −方向に補正されます。黒い物の撮影や晴天の野外などのときに押します。

- 露出補正値をもとに戻したいときは、反対方向に露出補正して"0.0"に合わせてください。

4. 撮影します。

重要!
- 明るすぎたり、暗すぎたりするときは、露出補正ができない場合があります。

参考
- EVシフトを行うと、測光方式が自動的に中央重点測光(中央部を重点的に測光します)に切り替わります。EVシフトを"0.0"に戻すとマルチパターン測光(画面全体を分割し、それぞれのエリアの測光データを元に露出を決めます)に戻ります。
- キーカスタマイズ機能を使うと、【◀】【▶】で露出値が補正できるように切り替えられます(70ページ)。

ホワイトバランスを変える

被写体は、太陽光や電球の光など光源の波長によって色味が異なっています。ホワイトバランスとは、被写体を自然な色合いで撮影できるように白を基準に色味を調整することです。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"ホワイトバランス"と選び、【▶】を押します。

3.【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

オート	: 自動的にホワイトバランスを調整します。
(太陽光)	: 屋外での撮影時
(日陰)	: 日陰で青みがかるとき
(電球)	: 電球下で赤みがかるとき
(蛍光灯)	: 蛍光灯下で緑がかるとき
マニュアル	: 現在の光源に合わせて手動で設定します。詳しくは「マニュアルホワイトバランスを設定する」(55ページ)を参照してください。

参考
- "マニュアル"を選ぶと、前回マニュアルホワイトバランスを設定した際の値に設定されます。
- キーカスタマイズ機能を使うと、【◀】【▶】でホワイトバランスが変更できるように切り替えられます(70ページ)。

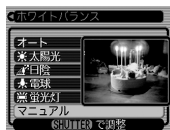
マニュアルホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの"オート"では光源によって自動調整の処理に時間がかかったり、調整できる範囲(色温度)に限界があります。マニュアルホワイトバランスを使うと、さまざまな光源下で適正な色に調整することができます。マニュアルホワイトバランスの設定は、白い紙などを画面に一杯に写した状態で行ってください。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"ホワイトバランス"と選び、【▶】を押します。

3.【▲】【▼】で"マニュアル"を選びます。

- 【液晶モニター】には、前回調整したバランスで被写体が表示されます。

4. 画面全体に白い紙などを写した状態で【シャッター】を押します。

白い紙

- "完了"と表示されたらホワイトバランスの調整は完了です。
- 暗い所や色の濃いものでホワイトバランスを調整すると時間がかかります。

5.【SET】を押します。

- ホワイトバランスを決定し、撮影ができる画面に戻ります。

さまざまなシーンを選んで撮影する(ベストショットモード)

21種類のシーンの中から撮影したいシーンを選ぶと、自動的にそのシーンに最適な設定になります。

■シーンのサンプル画像例

- 人物を写す

- 風景を写す

- 夜景を写す

- 人物と夜景を写す

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"撮影モード"と選び、【▶】を押します。

3.【▲】【▼】で"BS ベストショット"を選び、【SET】を押します。

- ベストショットモードになり、シーンのサンプル画像が表示されます。

4.【◀】【▶】で撮影したいシーンを選び、【SET】を押します。

5. 撮影します。